

【オリコンサルグローバル 港湾部社員が国際論文発表会に登壇】



港湾部社員が国際
論文発表会に登壇
オリコンサルグローバル
オリエンタルコンサルタン

ツグローバルの社員がフィリピンのマニラ市で開かれた若手港湾関係技術者の論文発表会に登壇し、AI（人工知能）技術を活用した波浪推算手法などを発表した。

同市のフィリピン国際会議場で9日から13日で開かれた「第10回PIANC-COPEDEC2023」に、同社総合開発事業部港湾部のティツ・ウー・チョー氏が参加した。

同氏は「Wave forecasting at Japan coast: An advance d deep-learning approach」と題して、柴山知也早大理工学院教授、東洋建設と開発を進めてきたAI活用による波浪推算手法を紹介したほか、数値解析モデルのセッションではセッション・チェアを務めた。写真。

PIANC（国際航路協会）は、1885年に設立された国際機関。ベルギー・ブラッセルに本部を置き、港湾・航路などの技術的課題に関する調査研究、開発途上国への技術援助など、幅広い活動を行う非政治的・非営利的な機関で国連の諮問機関に指定されている。

PIANC-COPEDECは、4年に1度開催されている開発途上国の若手港湾関係技術者の論文発表会で、10回目となる今回は、約70編の技術論文が発表された。